

循環器病の現状について

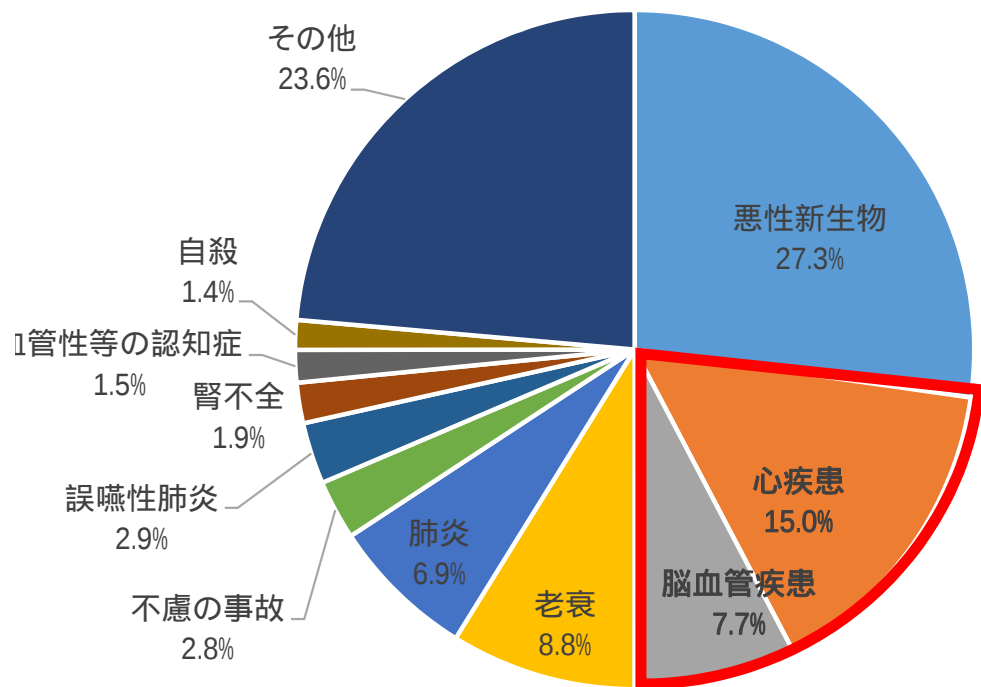
三重県 医療保健部 医療政策課

1. 死亡原因における循環器病の割合

- 心疾患及び脳血管疾患は、全国・三重県とも主要な死亡原因である。
- 2019（令和元）年の人口動態統計によると、全国・三重県とも心疾患は死亡原因の第2位、脳血管疾患は第4位であり、両者を合わせた循環器病は、悪性新生物（がん）に次ぐ死亡原因である。

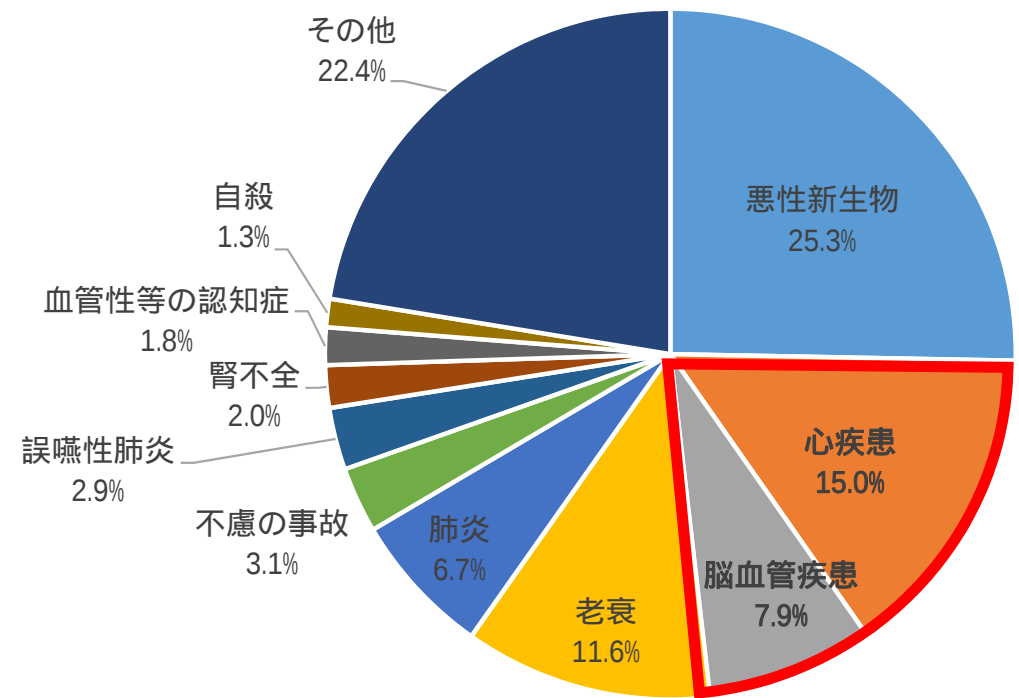
2019(令和元)年の死亡原因内訳

【 全 国 】



循環器病
22.7%

【 三重県 】

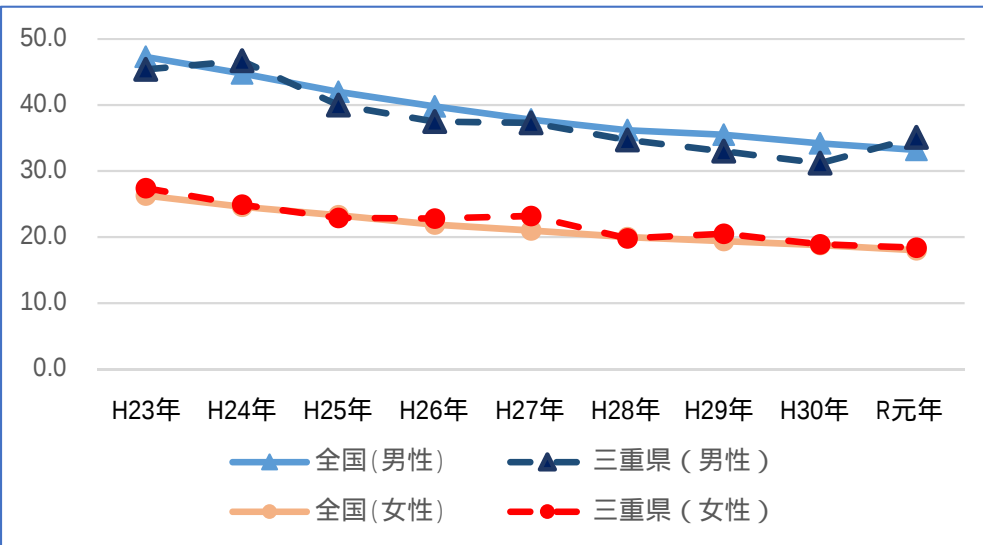


循環器病
22.9%

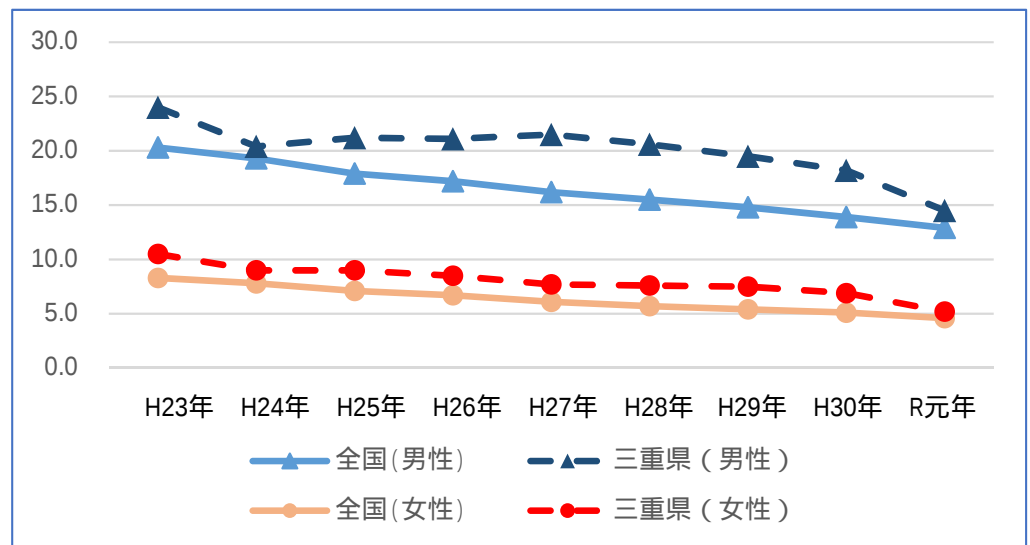
2.循環器病における年齢調整死亡率

- 心不全は横ばい傾向にあるが、総じて循環器病の年齢調整死亡率は減少傾向にある。
男性と女性を比較した場合、男性の死亡率が高い疾患である。

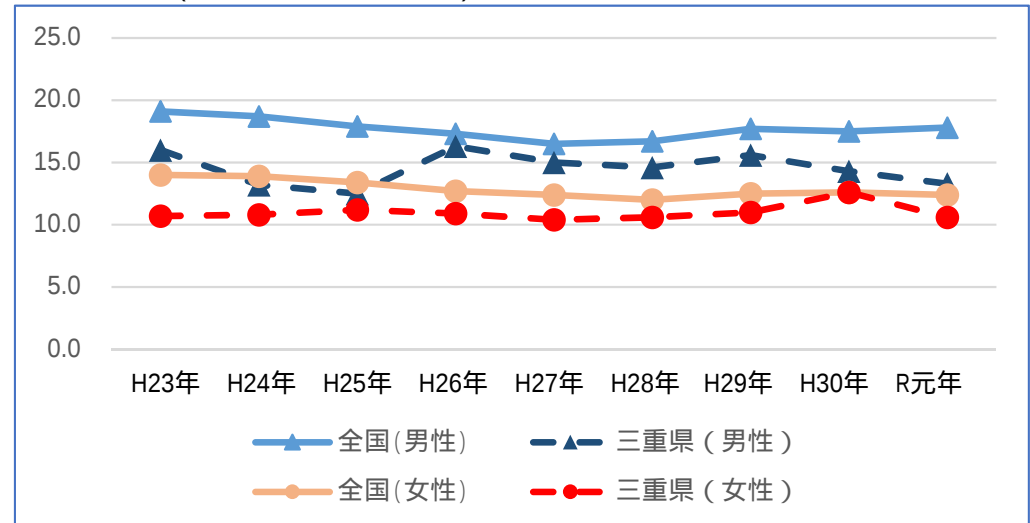
脳血管疾患(10万人あたり)



急性心筋梗塞(10万人あたり)



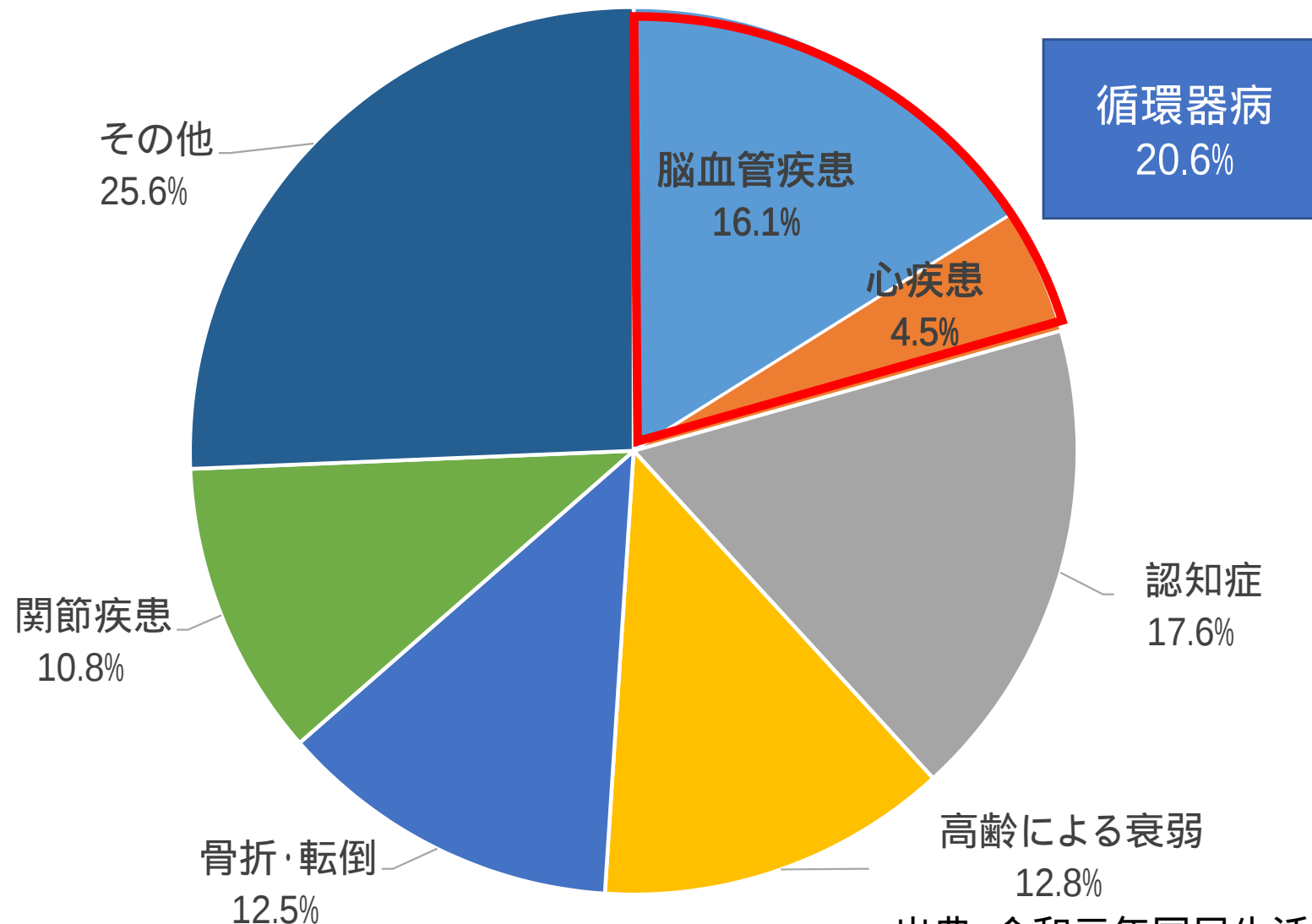
心不全(10万人あたり)



3.介護が必要となった主な原因の割合（全国）

- 脳血管疾患が16.1%、心疾患が4.5%であり、両者を合わせた循環器病は20.6%と、介護が必要となった原因に占める割合は最多である。

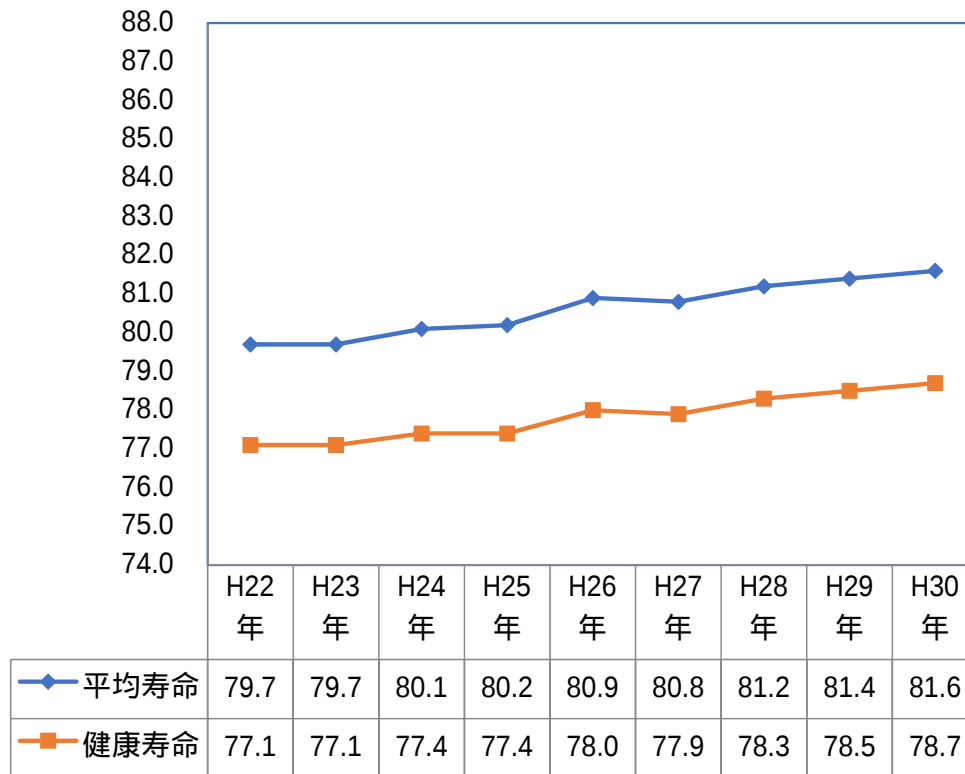
2019(令和)元年 介護が必要となった主な原因の構成割合(全国)



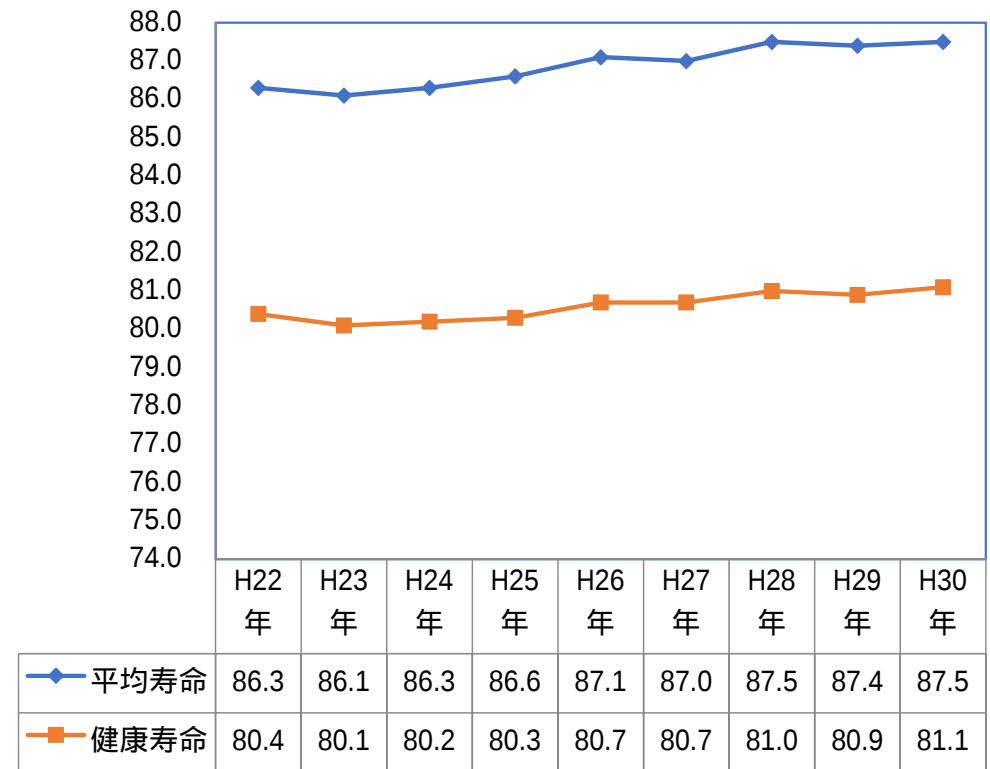
4.三重県の健康寿命と平均寿命の推移

- 平成22年から30年については、男女ともに、
- ・健康寿命と平均寿命は概ね延伸している。
 - ・健康寿命と平均寿命の差は概ね横ばいで推移している。

健康寿命と平均寿命の推移（男性）

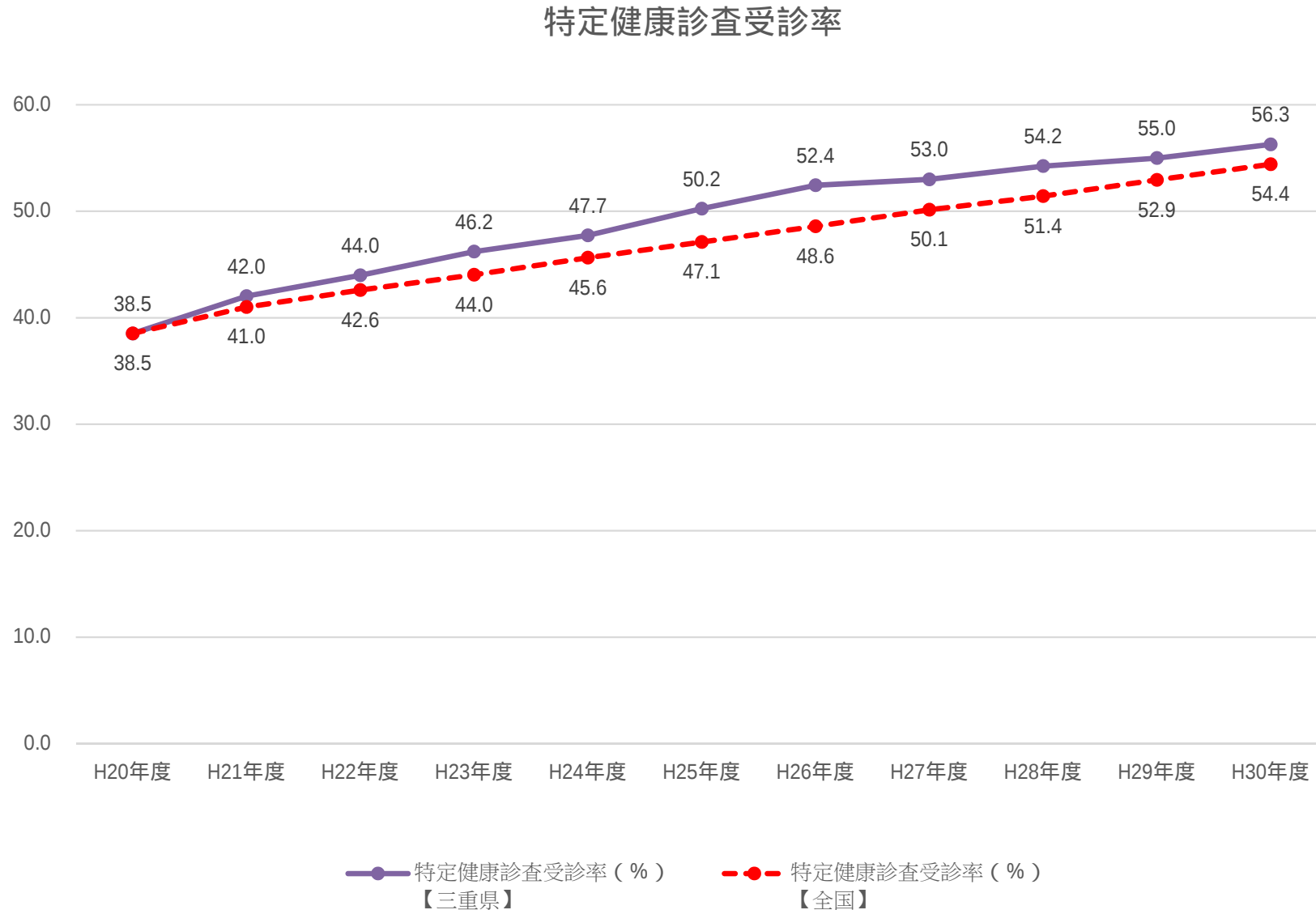


健康寿命と平均寿命の推移（女性）



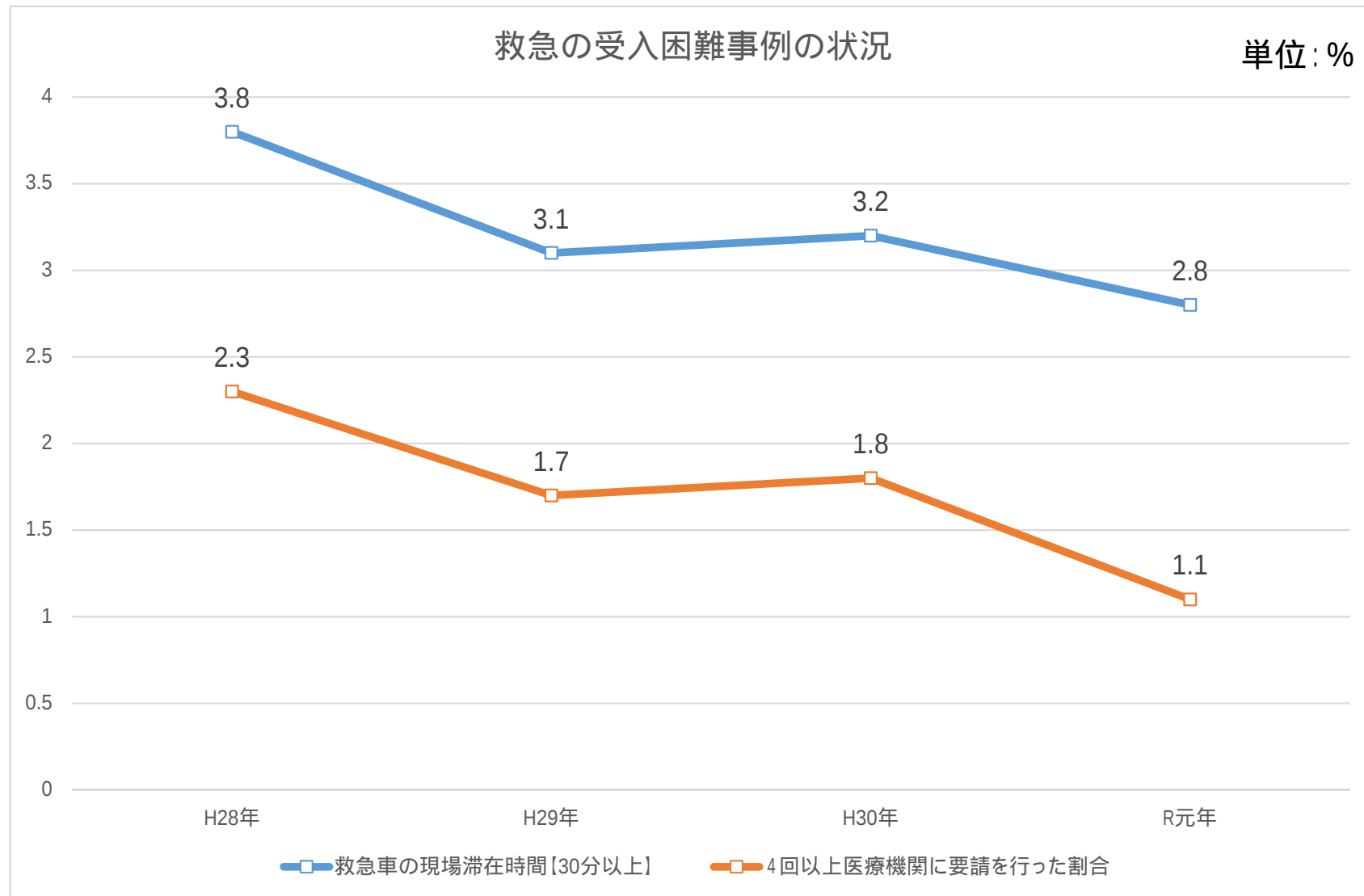
5. 特定健康診査受診率の推移

- 平成20年度から平成30年度の特定健康診査受診率は、全国・三重県とも右肩上がりで推移している。
しかし、三重県の受診率は平成30年度で56.3%であることから上昇余地は残されている。



6.三重県の救急における受入困難事例の状況

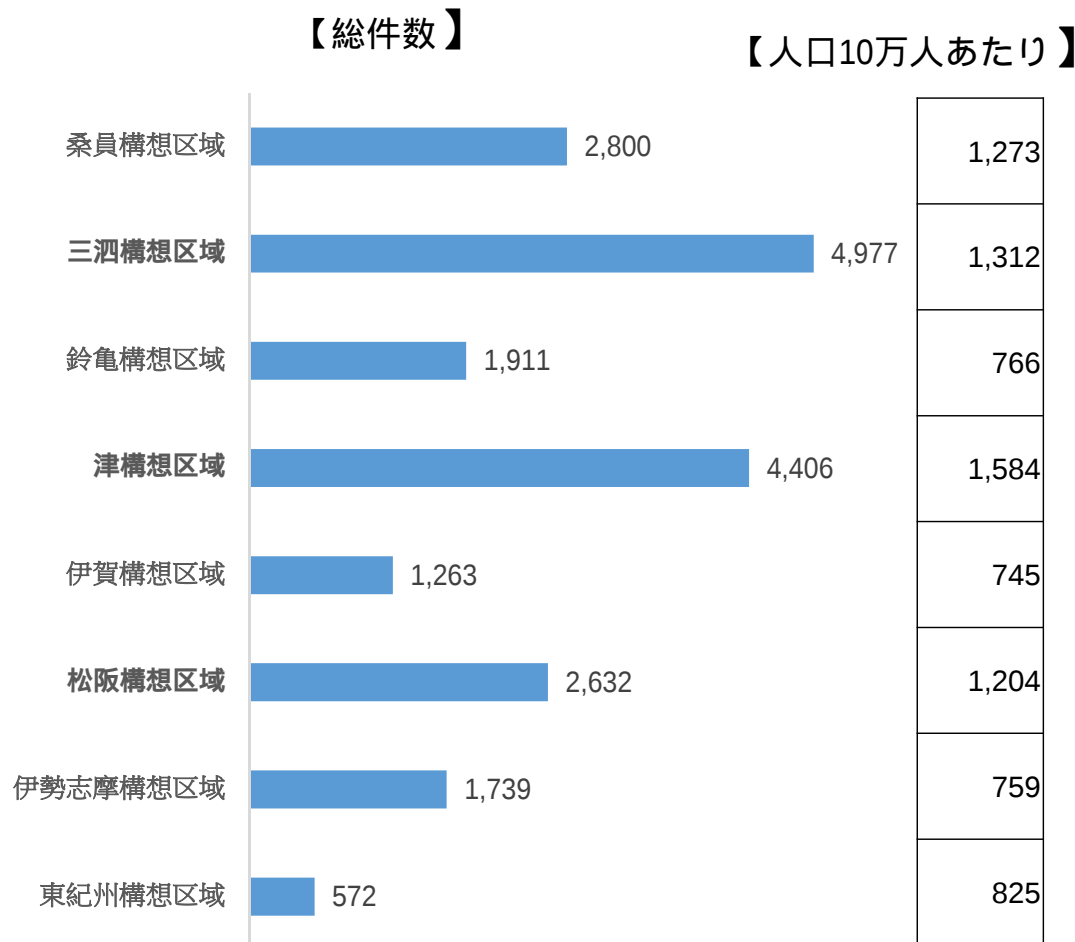
- 救急搬送に占める受入困難事例の割合は、「救急車の現場滞在期間【30分以上】」「4回以上医療機関に要請を行った割合」とともに減少傾向にある。



7.三重県のリハビリテーションの実施状況

- 脳血管疾患リハビリテーションは、三泗構想区域や津構想区域で総件数、人口10万人あたり件数とも多い。
- 心疾患リハビリテーションは、津構想区域や伊賀構想区域で総件数、人口10万人あたりの件数とも多い。

脳血管疾患リハビリテーション実施件数(令和元年度)
(レセプト件数)



心疾患リハビリテーション実施件数(令和元年度)
(レセプト件数)

